

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
公益社団法人 福岡県人権研究所
“りべらしおん” No. 14 (2022/9/21)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

I お知らせコーナー

(1) 「2022 年度啓発担当者のための人権講座」～今すぐ申込を！

日時：2022 年 10 月 3 日(月)12:30(受付)13:00～16:30

会場：福岡市中央市民センターホール(会場開催と同時にライブ配信も行います)

内容：①講演 「ネット人権侵害と部落差別の現実」

講師 川口泰司さん(一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長)

②報告 福岡県人権・同和对策局

「福岡県におけるインターネットモニタリングの実施状況について」

* 当研究所ホームページの「啓発担当者のための人権講座(2022. 10. 3)参加申込フォーム」または FAX でのお申込みをお願いします。締切は、2022 年 9 月 26 日(月)です。

(2) 部落解放・人権社会確立第 41 回全九州研究集会

日時：2022 年 11 月 29 日(火)13:00～30 日(水)16:00

会場：北九州市西日本展示場、他

参加費：4000 円

* 地元実行委員長は、本研究所新谷恭明理事長。パネルディスカッションや各分科会で研究所理事や会員が、報告者、司会者、研究協力者担っています。みなさんの参加をお願いします。

(3) 部落問題部会研修会

日時：2022 年 12 月 3 日(土)午後から

場所：田川市 *会場、内容検討中

< *各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。>

II 報告

< 森崎和江さん追悼イベント(主催：西南学院大学ことばの力養成講座) >

2022 年 9 月 10 日(土)、西南学院大学コミュニティーセンター・ホールにて、西南学院大学ことばの力養成講座(田村元彦准教授)主催の森崎和江さん追悼イベントが行われました。

森崎和江さんが製作に関わられたドキュメンタリー3 本(「まっくら」「湯かげんいかが」(以上 RKB)、「こだまひびく山河の中へ～詩人 森崎和江・こころの旅～」(TNC))が上映され、研究者や作家(茶園梨加、森元斎、姜信子)によるトークショーが行われました。

解説された RKB の方からは、『まっくら』で、森崎和江さんや木村栄文さんたちは、実際には撮ることのできなかつた炭鉱労働者たちの怨念を、このドキュメンタリーを通して再現したかったのではないかと語られていました。

Ⅲ 2025年デフリンピック 東京開催

聴覚障害の国際スポーツ大会「デフリンピック」夏季大会が2025年に東京で開催されることが決まったという、新聞記事を読みました。今年の2022年5月にブラジルで開催され、日本選手が過去最高となるメダルを獲得したそうです。調べてみると、①デフリンピックとは「デフ（英語でろう者の意味）」と「オリンピック」をたした造語で聴覚障害者のための国際的なスポーツ大会である、②オリンピック・パラリンピックと同じように4年に1回夏季大会と冬季大会が開催されている、③競技会場内では補聴器の使用が禁止され、公平を保てるようにされている、④オリンピックと同様の競技が行われ、スタートの音や審判の声などの合図を目で見て分かるようにする以外は、オリンピックと同じルールで行われるそうです。

さらに、「スペシャルオリンピックス」というのもありました。①オリンピックのように大会そのものを表す名前ではなく、②知的障害のある人たちにいろいろなスポーツプログラムや成果を発表する場としての競技会を提供する国際的なスポーツ組織の名前である、③「オリンピックス」と複数形なのは、様々な活動が常に世界中のどこかで行われているという意味が込められている、④世界大会は4年に1回、夏季大会と冬季大会が開催されている、⑤公式競技は水泳、陸上、フィギュアスケートなどオリンピックでも行われている競技などに加え、ボッチャという障害者スポーツも行われている、⑥オリンピックと異なり、上位3位以外の出場者を含む全員にメダルやリボンが贈られる、という大会もあるそうです。

知名度が低いとありましたが、本当に私は知りませんでした。「スペシャルオリンピックス」では、上位3位以外の出場者を含み全員にメダルやリボンが贈られるそうです。「参加することに意義がある」の原点だと思いました。「誰一人取り残さない」ということばが浮かびました。

ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

email info@f-jinken.com (登録解除はこちらへ)

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！－学校文化史のおきみやげ－』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは－』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

ニュース担当：峰

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>